

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：島根大学（総括責任者：服部 泰直）

共同実施機関：島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校

取組の概要

本事業では、高等教育機関4機関が連携して、地域に根差しつつ、国際的に活躍できる女性研究リーダーを持続的に育成し輩出する仕組みを構築し、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引する。

1. ダイバーシティ研究環境の整備強化
 - ・ダイバーシティ推進のためのネットワークを組織する。
 - ・ネットワークを通じて、知見の共有と情報発信を行う。
 - ・ダイバーシティへの意識啓発活動を行う。
 - ・各機関の実情に即したダイバーシティ研究環境を整備する。
2. 女性教員の積極採用と上位職登用
 - ・全学的計画にもとづき、女性教員を積極的に採用する。
 - ・各機関の実情に応じたポジティブアクションを強化する。
3. 女性研究者の裾野拡大
 - ・理系研究者の裾野拡大に取り組む。
 - ・学部生向けキャリアデザイン支援を行う。
 - ・社会人向け大学院進学支援を行う。
4. 女性研究リーダー育成
 - ・研究力向上のための取組を行う。
 - ・マネジメント能力向上のための取組を行う。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
B	b	a	a	b	b

総合評価：B（所期の計画以下の取組であるが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組もみられる）

(2) 評価コメント

山陰地域の2大学と2工業高等専門学校が連携し、地域に根差し国際的に活躍する女性研究リーダーの持続的な育成を目指しており、採用比率25%を上回る女性研究者の積極的な採用を進め、上位職への登用を推進したことは評価できる。しかしながら、任期を付さない安定的な職に就く自然科学系分野の女性教員は、一時的に増加したものの減少傾向にあり、任期を付さない安定的な職に就く女性教員が不在となっている共同実施機関もある。代表機関から共同実施機関への波及効果は限定的であり、4機関連携の成果が十分挙がっているとは言い難い。今後は、4機関連

携を強化し、国際的に活躍できる女性研究リーダーの育成へ向け、確実な成果を挙げることを期待する。

- **目標達成度**：4連携機関全体の女性研究者採用比率は25%を上回り推移しており評価できる。しかしながら、女性研究者在職比率に係る目標については、2大学では達成できたものの、共同実施機関の2工業高等専門学校では達成できていない。今後は、目標達成へ向け、実効性の高いポジティブ・アクションを実施することを期待する。
- **取組**：教員の女性限定公募、女性優先公募を導入し、女性教員の採用増を図るとともに、世界最先端研究に取り組む「次世代たたら協創センター（NEXTA）」と連携し女性研究リーダーの育成を進めたことは評価できる。さらに、山陰地域の332機関が参画する「SAN' IN ダイバーシティ推進ネットワーク」を構築し、連携機関の取組好事例を山陰地域へ普及させる基盤を整備しており、今後の展開が期待できる。
- **取組の成果**：教員の女性限定・女性優先公募等の取組の導入により、4連携機関ともに高い女性研究者採用比率を維持したことは評価できる。また、代表機関において自然科学系分野の女性教授が4名誕生したこと、共同実施機関の米子工業高等専門学校において初の女性教授が誕生したことは評価できる。
- **実施体制**：4連携機関のみならず、山陰地域の332機関が参画する「SAN' IN ダイバーシティ推進ネットワーク」を構築し、地域全体を巻き込んで本事業を進めたことは評価できる。しかしながら、4連携機関の協働が十分とは言い難く、代表機関から共同実施機関への波及効果は限定的である。
- **今後の進め方**：4連携機関とも十分な予算を確保し、これまでの取組の継続、発展を図る計画であり評価できる。しかしながら、本事業の今後の効果的な推進には4機関の連携の実質的な強化が不可欠であり、より密接な連携体制を構築し、情報や課題の共有を図ることを期待する。